

話題2 『平成20年度レディースネットワーク・21フォーラム』を開催しました

全国の都道府県で働く女性林業技術職員の会「レディースネットワーク・21」の主催、北海道の共催により、10月3日～4日の2日間、登別市ネイチャーセンターふおれすと鉱山で、「木とふれあい、木に学び、木と生きる～木育のこれからを考える～」をテーマにフォーラムを開催しました。全国から1日目の鼎談（3人が話し合うこと）及び事例発表には60名が、2日目のワークショップには45名が参加し、木育への理解を深めるとともに積極的な情報交換を行いました。

【 鼎談^{ていだん} 】(10月3日 14:30～15:40)

木育ファミリー代表の煙山泰子氏、アウトドアライターの西川栄明氏、レディースネットワーク・21 北海道支部の濱田智子氏の3人が「北海道生まれの木育」をテーマに鼎談しました。

煙山氏は、「素直な気持ちで木に向き合い、五感で感じ楽しむことが木育への入口。人と、木や森とのつながりの大切さを未来の子どもたちに伝えよう」と主張しました。西川氏は、「木製食器を学校給食で使うことで、子どもたちがモノを丁寧に扱い、大切に使う気持ちが芽生えた」と食育との結びつきを紹介しました。濱田氏は、「“木育”という言葉には力がある。木が持つエネルギーでつながり、共有感が生まれた」と木育がつながりを生み出すキーワードになることを強調しました。



【 事例発表 】(10月3日 16:00～17:30)

- ① 北海道水産林務部林務局林業木材課
主査 伊藤嘉彦氏
・道庁における木育の取組について
- ② NPO 法人登別自然活動支援組織モモンガくらぶ
事務局長 吉元美穂氏
・モモンガくらぶの木育の活動について
- ③ 岐阜県立森林文化アカデミー 講師 萩原裕作氏
・森林文化アカデミーの活動と木育のつながりについて
- ④ LN21 会員による各地の取組発表
(京都府、高知県、熊本県)



【 木育プログラムの体験 】(10月4日 9:00～11:15)

2日目は木育を体感するプログラム（3コース）を実施しました。幼児を伴って参加した職員も多く、親子で木にふれ、木育を体感しました。

Aコース「木育の玉手箱」

講師：KEM 工房主宰 煙山泰子氏

Bコース「あき・もりのようちえん」

講師：モモンガくらぶ 北川浩二氏

Cコース「秋の草木染め」

講師：モモンガくらぶ 遠藤 潤氏



(水産林務部林務局 林業木材課林業木材グループ)